

野研びより

植物編 2号
野外生物生態調査研究部 植物班
2015年6月

ニワゼキショウ(ユリ目アヤメ科ニワゼキショウ属)は、葉がセキショウ(図1)に似ていることから、このように名づけられたとされています¹⁾。

ニワゼキショウ属に含まれる種の見解により異なりますが、70~150種がこれに属していると言われていています。ニワゼキショウは、高さ10~20cm、花の直径約1.5cmで、北アメリカ原産の多年草(複数年にわたって生存する植物)です。明治中期に渡来したとされており、現在では各地に帰化しています。花期は5~6月で、花の色は白または紫、日当たりの良い芝生や道端で多く見られます。



図1 セキショウ(ショウブ科ショウブ属)¹⁾



図2 ニワゼキショウ²⁾

ニワゼキショウによく似た種としてオオニワゼキショウがあります。オオニワゼキショウは高さ20~30cmで、ニワゼキショウに比べて大きいのですが、の直径は1cmと逆に小さく、また蒴果(成熟すると果皮が裂開する果実)がニワゼキショウのものに比べて大きいことが特徴です。花の色は、ニワゼキショウの花より青みがかった白です。

ニワゼキショウ属のうち、この2種以外に大学内で見ることの出来る種として、キバナニワゼキショウがあります。キバナニワゼキショウは、その名の通り花が黄色く、ニワゼキショウなどとは見分けることが簡単です。高さも5cmほどとニワゼキショウなどと比べるとかなり小さく、花の形もニワゼキショウなどと比べると少し尖っている印象を受けます。



図 3 2015.6.22 教育文化学部棟前の駐車場
付近で発見されたセッカニワゼキショウ



図 4 2014.5.11 天神池付近で確認
されたキバナニワゼキショウ

真っ白の花の「ニワゼキショウ」も大学内で発見しました。高さはニワゼキショウより少し小さいくらいで、丸みを帯びた真っ白の花をつけます。最近日本に入ってきた外来種のように、雪のように白い花という意味で雪花庭石菖（セッカニワゼキショウ、図3）という和名がつけられました。ニワゼキショウ属は分類が非常に難しく、キバナニワゼキショウも未だ学名が定まっていないようです。

これらのニワゼキショウ属の三種はいずれも大学内のいろいろな場所で見ることが出来るので、是非探してみてください。この記事を読んで足元に生えている野草に興味を持つ人が一人でも多くなっただけなら幸いです。

参考文献

- 1) 川崎深雪:「山溪ハンディ図鑑 1 野に咲く花」,p.407,山と溪谷社(1989)
- 2) イー薬草・ドット・コム

<http://www.e-yakusou.com/sou/sou246.htm>